



旅館は減っても、 東郷湖の風景と人の良さは変わりません。

メニューには、ナポリタンやハンバーグ、生姜焼きランチなど
並び、「こんな店が家の近所にあつたらいいな」と思わせる
喫茶店だ。

長尾則子さんがこの地に嫁ぎ、夫の実家のおみやげ屋を継い
だのは60年前。後に喫茶店も始めて40年あまり。

夫唱婦隨。第2の人生のほとんどを、松崎駅前で過ごしてきた。
「店を始めた頃は、京阪神からたくさんのお客様が汽車で
見えて。羽合温泉への連絡船を待つ人も多く、たいそう
賑わっていました」

近くに10軒ほどの旅館が軒を連ね、夕暮れ時には三昧線を
持った芸妓さんが行き交っていた。

長女が鳥取の学校に通っていた頃、駅長さんが「発車する
よ」と声をかけて待ってくれたくらい駅と密着した生活
も、時代の流れとともに変わってきた。

変わらないのは、穏やかな東郷湖の風景と、人の良さ。毎朝
7時には農家の方が10名ほど通つてきて、店自慢のコーヒーを
飲みながら、作物のことやよもやま話に花を咲かせる。近所
の人々が趣味の会合などにも利用する。若いお嫁さんからお姑
さんとのことを相談されるなど、いつも誰かがご夫婦の正面、
カウンターの特等席にいる。

「こんな常連さんに支えられて、元気なうちは続けたいです」
おみやげ屋の店番をすればよいと気軽な気持ちでいたが、
今やすっかり松崎駅前の顔である。

喫茶 アスコット
長尾則子

ゆ
う
ゆ
う、
ゆ
り
ま

